

音、声頼りにシュート!!



ブラインドサッカーを体験する子どもたち
＝浜松市中区の静岡文化芸術大

「相手の立場考えて」

参加者はアイマスクを着けて音の鳴るボールを蹴る人と、声で指示を出す役割に分かれてドリブルやシュートに挑戦した。指示が分からず戸惑ったり、ボールを見失ったりしながらも、ゴールを決めると喜んだ。

ブラインドサッカーチーム「乃木坂ナイツ」(東京)の代表を務める同大非常勤講師の葭原滋さんが指導に当たった。葭原さんは「目

NPO法人日本ブラインドサッカー協会と浜松市は27日、ブラインドサッカーの体験会を中区の静岡文化芸術大で開いた。市内の小学4～6年生約50人が視覚障害者と健常者が一緒にプレーする競技を体験した。

ブラインドサッカー 中区で体験会

が見える人と見えない人が協力することが競技の魅力。声を掛ける時はアイマスクをした相手の立場をよく考えて」と呼び掛けた。

(浜松総局・白本俊樹)